

応用・開発研究におけるプログラム評価の考え方(検討素材)

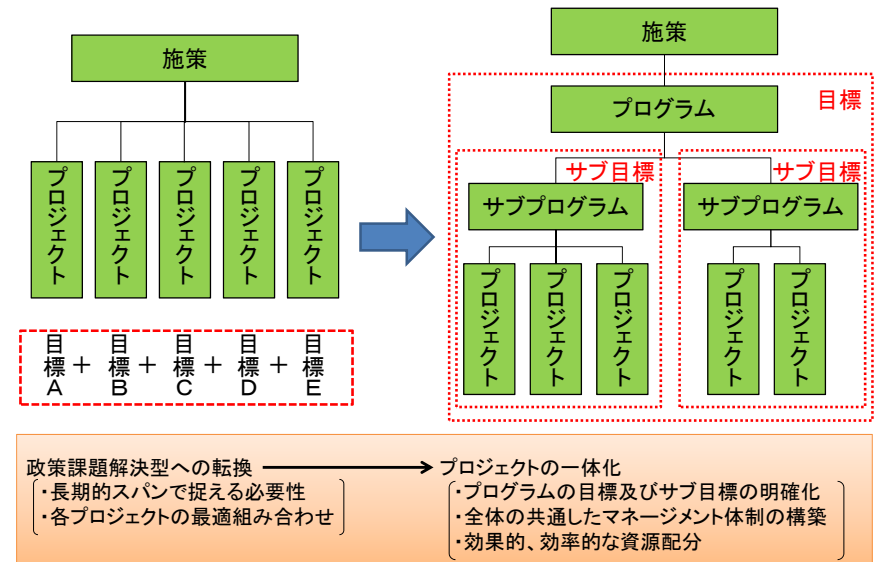
平成 23 年 10 月 11 日
評価専門調査会事務局

プログラム化の効果の例	プログラムの要件の例	評価の視点の例
<p>1. プロジェクトの一体化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施策の実現手段として、全体としての目標の明確化と各プロジェクト(研究開発課題)間の有機的な結合 ・ 効果的・効率的な資源配分 ・ 全体の共通したマネジメント体制の構築 <p>2. 計画の手順化(研究開発制度のプログラム化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検証可能な目標達成水準と期限(マイルストーン)の設定 ・ マイルストーンを検証することによる計画の見直しを含めた PDCA プロセスの確立 <p>3. 施策課題の解決に向けた仕掛け(施策手段)の拡張</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プログラムに行政施策(政府調達、規制緩和等)を組み込むことによる研究開発成果の実装と政策全体としての PDCA サイクルの実効性の確保 	<p>1. 目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上位政策と整合性のあるプログラムとして対応すべき施策課題と目標の明示 ・ 目標実現に必要なプロジェクト(研究開発課題)群による構成 ・ 検証可能な明確な目標とその達成期限(マイルストーン)の設定 <p>2. 運営体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 推進主体と研究実施主体の役割分担と責任の所在の明確化 ・ 計画の見直し等を含めたプロセスの明示 <p>3. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究開発に加え課題解決に向けた必要な事業内容等(行政施策)の組み込み 	<p>1. 必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上位政策とプログラムとして対応すべき施策課題及び目標との整合性 <p>2. 効率性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標に対する投入リソースの妥当性 ・ プロジェクト(研究開発課題)群全体としての構成の妥当性 ・ 課題解決に向けた仕組み(行政施策を含む)の妥当性 ・ 運営体制(責任主体(推進主体と研究実施主体)の役割分担と責任の所在)、計画見直しプロセス、PD の役割等)の妥当性 <p>3. 有効性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期待される成果 ・ マイルストーン及びその検証方法の妥当性

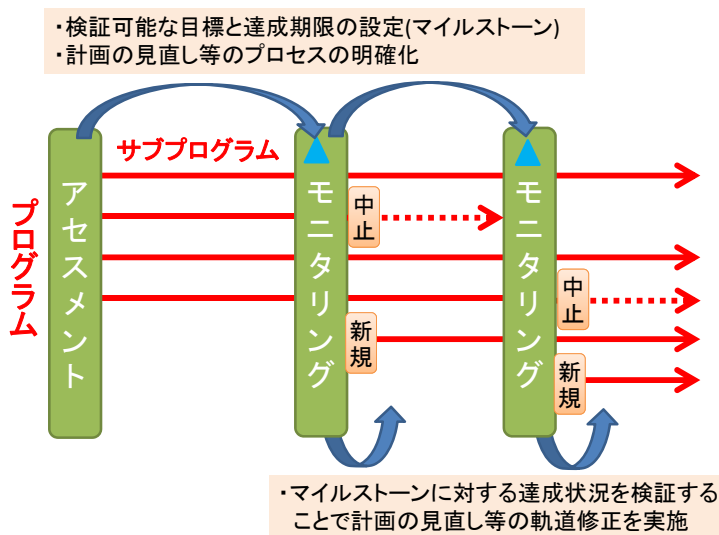
(参考)

応用・開発研究における プログラム化の効果のイメージ図

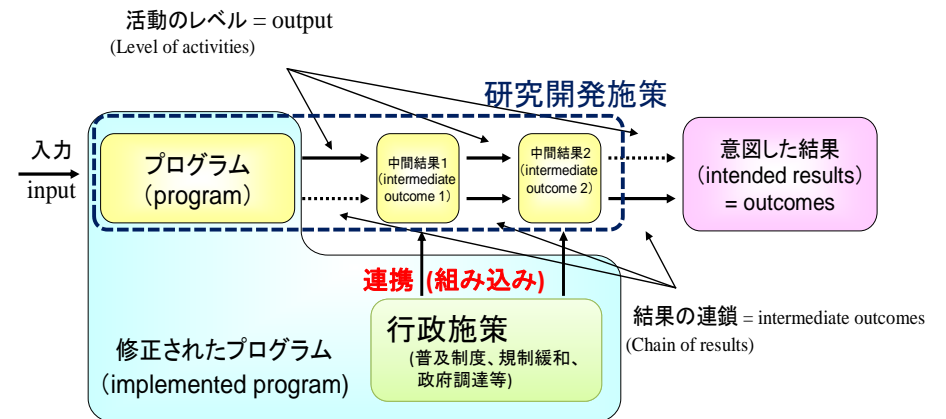
1. プロジェクトの一体化



2. 計画の手順化 (研究開発制度のプログラム化)



3. 課題解決に向けた仕掛けの拡張



「PARTモデルと施策所掌範囲」* (平澤冷氏作成) を基に総合科学技術会議評価専門調査会事務局にて加工
(*経産省第5回研究開発評価フォーラム2008年8月25日)